

24日からサービスを開始  
するご当地レンタカー



秋田市八橋の中古車販売「ラビット秋田臨海店」の運営会社ドラグーン(鎌田学社長)はきょう24日から、内装に川連塗や樺(かば)細工などの伝統工芸を施した「ご当地レンタカー」のサービスを開始する。車内には県内の観光情報

### ドラグーン(秋田市)

を網羅したタブレット端末も用意。観光客らの利用を促しながら、本県の伝統工芸もPRしたい考えだ。

## 内装に川連塗、樺細工…

ハンドルの一部などに川連塗を施したほか、ウィンドースイッチパネル部分には桜の模様が入った樺細工をあしらった。ヘッドレストのカバーや天井には絹織物・秋田八丈を使用。本県独自の伝統工芸をふんだんに盛り込んだ。

タブレット端末は、初めて本県を訪れる人も安心して県内を周遊してもらう狙い。「十和田・八幡平・大館」「横手・湯沢・栗駒」など七つのエリアから目的地別に、観光地や飲食店の情報を検索した

予約は、同店を含めた全国約300店舗が加盟する「1000円レンタカー」の専用ホームページで受け付ける。1日当たりの料金は1万2千円に設定。現在の車両数は1台だが、10月までに4台まで増やす予定。県外客には、なまはげの格好をした従業員による出迎えも行う。

川連塗を施したハンドルや秋田八丈のシートカバーが特徴の車内

# ご当地レンタカーいかが

## きょうからサービス開始

あきた 経済

同社は昨年10月、県内観光客の交通手段として増加が見込まれるレンタカー事業に参入。他社にない特徴的な車両を模索する中で、伝統工芸を取り入れたご当地レンタカ

ーを思い付いた。同12月にはPRカーも製作、サービス開始に向けた準備を進めてきた。

鎌田社長(52)は「レンタカーを単なる移動手段ではなく、観光を楽しむツールとして捉えてもらえるよう普及させたい」と話している。

問い合わせは1000円レンタカー秋田臨海店 ☎018・867・0808

(川村 巴)